

# 東北地方 1 か月予報

( 1 2 月 2 4 日から 1 月 2 3 日までの天候見通し )

平成 1 7 年 1 2 月 2 3 日  
仙台管区气象台発表

## <特に注意を要する事項>

1 2 月に入ってから気温の低い状態が続いていますが、この先 1 か月も気温の低い日が多く、特に期間のはじめは強い寒気の影響を受ける見込みです。

## <予想される向こう 1 か月の天候>

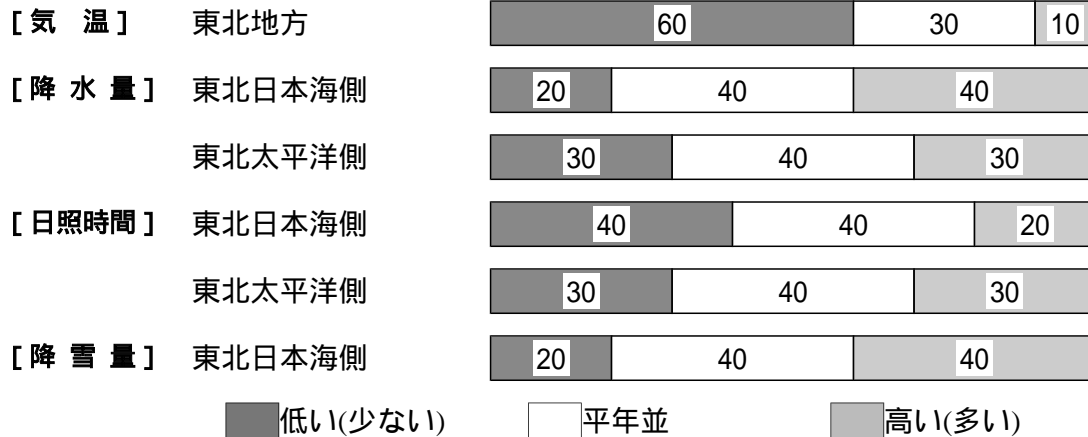
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置となる日が多く、時々強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

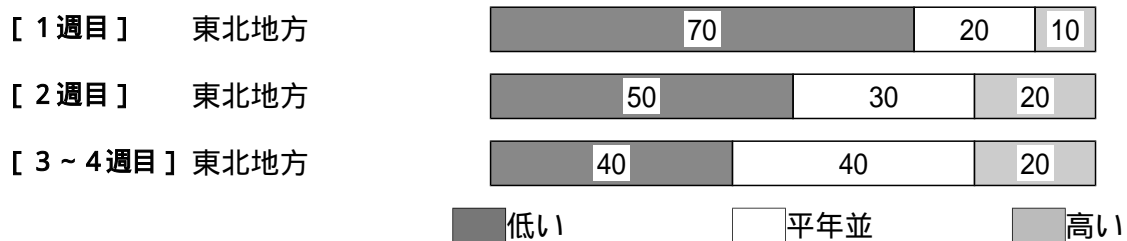
向こう 1 か月の平均気温は東北地方で低い、降水量は東北日本海側で平年並か多く、東北太平洋側では平年並、日照時間は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側では平年並、東北日本海側の降雪量は平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1 週目と 2 週目は低い、3 ~ 4 週目は平年並か低いでしょう。

## <向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1 か月 : 1 2 月 2 4 日 ( 土 ) ~ 1 月 2 3 日 ( 月 )  
1 週目 : 1 2 月 2 4 日 ( 土 ) ~ 1 2 月 3 0 日 ( 金 )  
2 週目 : 1 2 月 3 1 日 ( 土 ) ~ 1 月 6 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目 : 1 月 7 日 ( 土 ) ~ 1 月 2 0 日 ( 金 )

**< 次回発表予定等 >**

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は12月30日

3 か月予報：1月25日（水） 14時

## < 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温( )		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	1.3	43.8	145.9	15	2.3	1.7	0.9
新庄	-0.8	188.7	41.1	259	0.2	-0.5	-1.3
若松	-0.2	82.2	75.9	173	0.7	0.2	-0.6
深浦	0.3	102.8	31.7	112	1.4	0.8	-0.2
青森	-0.8	144.1	54.9	231	0.1	-0.5	-1.2
むつ	-0.9	92.6	74.4	148	0.1	-0.5	-1.4
八戸	-0.5	46.5	130.8	90	0.5	-0.2	-1.0
秋田	0.6	126.7	45.0	126	1.6	0.9	0.1
盛岡	-1.5	53.6	118.2	102	-0.3	-1.1	-2.0
宮古	0.9	48.3	157.5	31	1.9	1.3	0.4
酒田	2.1	163.7	40.3	127	3.2	2.5	1.6
山形	0.1	77.9	87.9	148	1.2	0.4	-0.4
仙台	2.1	34.0	148.6	31	3.1	2.4	1.6
石巻	1.2	34.7	162.6	0	2.2	1.5	0.7
福島	2.0	44.5	132.5	75	3.0	2.3	1.5
白河	0.7	31.3	157.9	52	1.6	1.1	0.3
小名浜	4.1	45.4	186.4	0	5.0	4.5	3.7

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2 ～ +0.6	74 ～ 99	98 ～ 105	81 ～ 104
東北日本海側	-0.2 ～ +0.5	91 ～ 108	96 ～ 109	88 ～ 111
東北太平洋側	-0.2 ～ +0.7	57 ～ 98	96 ～ 104	69 ～ 100

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.5 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.8
東北日本海側	-0.5 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.7	-0.6 ～ +0.7
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.9	-0.5 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.8

## < 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 33 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 30 %、40 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 17 年 12 月 23 日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (12 月 24 日～1 月 23 日) :

冬型の気圧配置となる日が多く、時々強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

1 週目 (12 月 24 日～12 月 30 日) :

冬型の気圧配置の日が多いでしょう。東北日本海側を中心に曇りや雪の日が続き、期間の前半は大雪やふぶく日がある見込みです。東北太平洋側は晴れの日が多いですが、期間の前半は前線や寒気の影響で曇りや雪の日があるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2 週目 (12 月 31 日～1 月 6 日) :

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

3～4 週目 (1 月 7 日～1 月 20 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

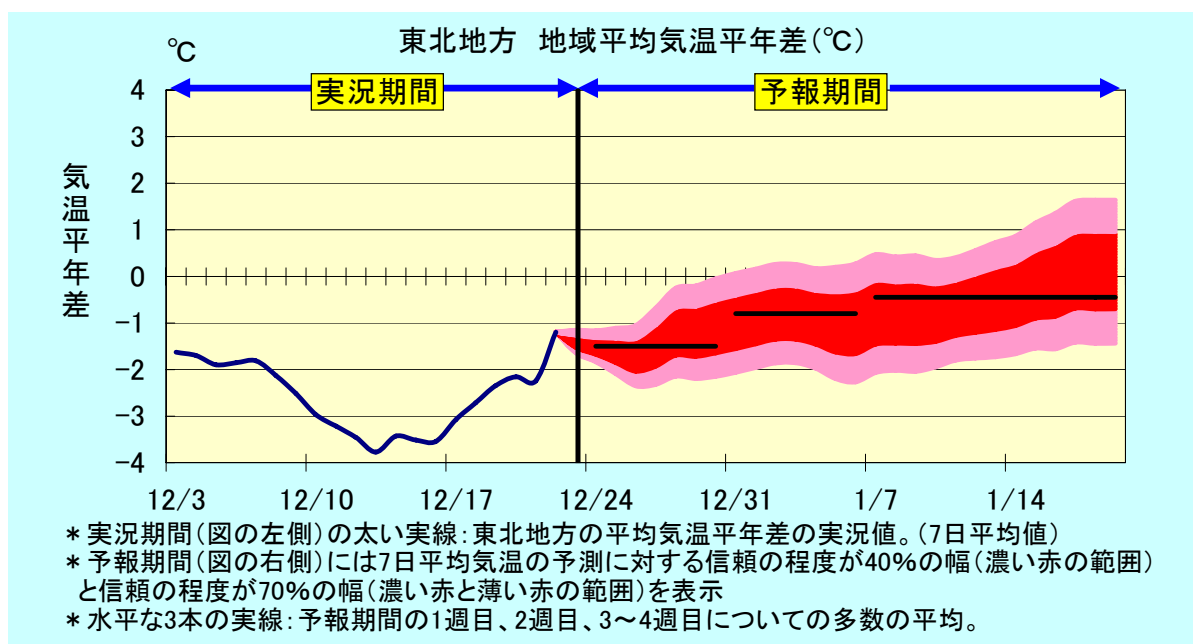
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	4.7 日	1.3 日	1.0 日	2.4 日
東北太平洋側	17.4 日	4.3 日	4.2 日	8.9 日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目を「低い」、3～4 週目を「平年並」と予測している。予報はその他の資料から 3～4 週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

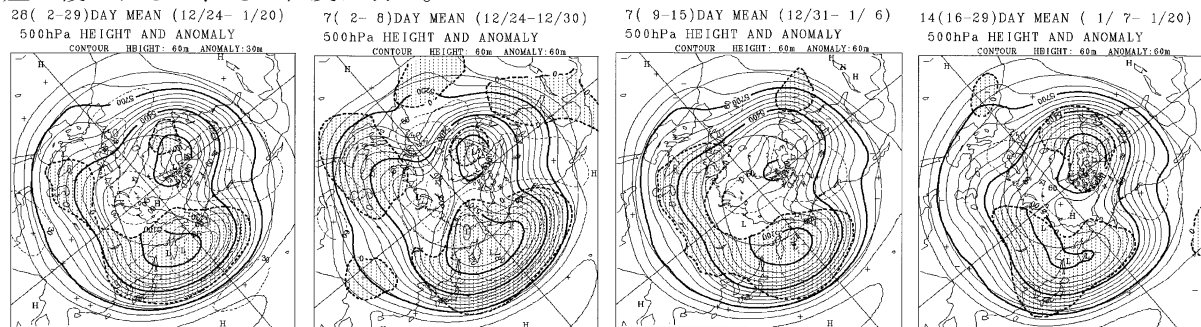


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、タイミル半島やアラスカ付近で正偏差となり、極東域の中緯度は広く負偏差に覆われ、日本付近は寒気の影響を受け易い。

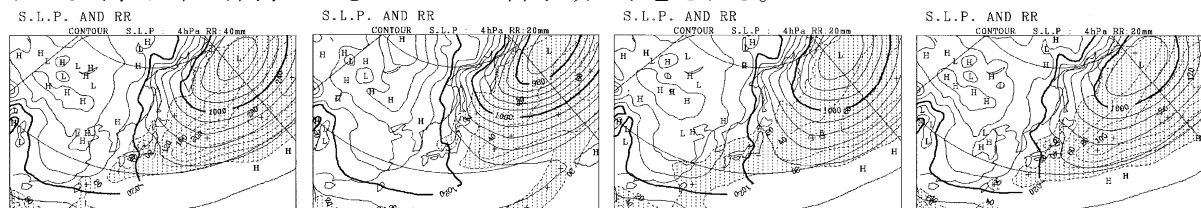
1 週目は、シベリアとアラスカ付近に気圧の尾根があつて、中緯度の大気の流れは大きく蛇行している。日本付近の中緯度帯は気圧の谷となり、北極からの強い寒気が南下し易い。2 週目は、引き続き中緯度の大気の流れは蛇行していて、北日本は負偏差に覆われるが、蛇行の程度は弱まり、東日本以西は正偏差に覆われる。3～4 週目も大気の流れは蛇行し、日本付近は引き続き負偏差に覆われるが、その程度は弱い。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、大陸の高気圧やアリューシャン付近の低気圧は平年より強く、日本付近の冬型の気圧配置は強い。日本海側にまとまった降水域が予想される。

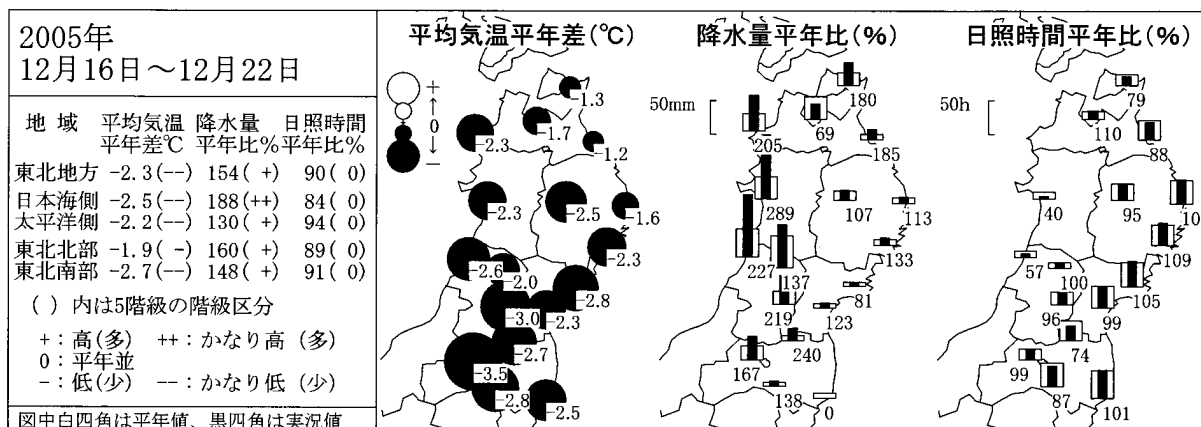
1 週目は、大陸の高気圧やアリューシャン付近の低気圧は期間の中で最も強く、冬型の気圧配置は平年よりも強い。2 週目は、アリューシャン付近の低気圧が平年よりも強い冬型の気圧配置だが、西日本では等圧線の間隔が広がる。3～4 週目は、平年同様の冬型の気圧配置。日本海側だけでなく、日本の東海上にもまとまった降水域が予想される。



### 4. 最近 1 週間（12 月 16 日～12 月 22 日）の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置となる日が多かったため、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。18～19 日にかけては、強い寒気が南下して東北太平洋側でも雪となる所が多かった。21 日は日本海と本州南岸を低気圧が通過したため、東北北部を中心に雪となった。通過後は再び冬型の気圧配置が強まって東北日本海側では大雪となり、秋田では 22 日に 56cm の積雪を観測し、12 月としての最深積雪を 88 年ぶりに更新する大雪となった。

平均気温は東北北部で低く、東北南部でかなり低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で平年並。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

# お 知 ら せ

## 平成 18 年の季節予報発表日について

平成 18 年の季節予報発表日は次のとおりです。

	1 か月予報	3 か月 予報	暖候期 予報	寒候期 予報
1 月	6 日、13 日、20 日、27 日	25 日		
2 月	3 日、10 日、17 日、24 日	23 日	23 日	
3 月	3 日、10 日、17 日、24 日、31 日	23 日		
4 月	7 日、14 日、21 日、28 日	25 日		
5 月	5 日、12 日、19 日、26 日	25 日		
6 月	2 日、 9 日、16 日、23 日、30 日	22 日		
7 月	7 日、14 日、21 日、28 日	25 日		
8 月	4 日、11 日、18 日、25 日	24 日		
9 月	1 日、 8 日、15 日、22 日、29 日	25 日		25 日
10 月	6 日、13 日、20 日、27 日	25 日		
11 月	3 日、10 日、17 日、24 日	22 日		
12 月	1 日、 8 日、15 日、22 日、29 日	25 日		

この件に関するお問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係  
Tel：022-297-8110